

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事務室やリビングに掲示されており、いつでも確認することができ、職員全員が周知し共有に努め実践につなげている。			<p>理念の浸透を図る為、当該理念の再確認が日々のミーティングの場で行われています。</p> <p>理念実現の為の取り組みについては毎年度定期的に評価され、その対応策が次年度計画に反映されています。</p>
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防の為、地域の方との交流が出来なかったが、施設での様子を回覧板にて発信。関係性が途絶えない様努めた。	広報の方で写真が多いと良い。穏やかに映っているのを見るとほっとし、状況がわかって良い。		<p>地域行事への参加や活動について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からその取り組みが困難な状況があります。</p> <p>地域の方へ施設での様子を回覧板にて発信し関係性が途絶えないように努め、管理者はじめホームの職員も地域の一員として、地域住民と接する機会があれば挨拶の励行に努めています。</p>
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら開催し随時報告とした。そこでの意見をサービスの向上に活かしている。	感染症の状況を確認しながらの開催が出来ていたため、評価は十分にできていると思う。		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染状況を確認し開催、時間短縮や換気、消毒等感染対策を実施しながら開催し関係性の継続を図っています。</p>
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村の担当者、また、法人内に包括支援センターの事業所もあるため、連絡を密にし協力関係が築けている。	市町村担当者との連絡を取りながら、事業所の実情等報告、サービスの取り組み等意見交換を通して、サービスの向上を目指す取り組みとなり、十分に出来ていると思う。		<p>運営状況の報告や確認事項について、日頃から行政担当者と連絡を取り合っています。サービスに係る相談については、地域包括支援センター、社会福祉協議会及び民生委員との連絡を取り合う体制にあります。</p>
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人全体での身体拘束をしない宣言している。身体拘束廃止委員会や会議等で身体拘束について勉強し周知、実践している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回開催し、その結果は職員全体で共有しています。物理的な行為のみならず、スピーチロック等の心理的虐待に発展する可能性のある「不適切ケア」の防止の観点から、挿入要因の分析を行い、職員の気づきに繋げています。</p>

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンラインによる法人の研修や事業所の会議や勉強会等で学ぶ機会を設け、全職員が理解し防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員対象に高齢者虐待防止に関する勉強会を定期開催し、「高齢者虐待」或いは「不適切ケア」を生み出す背景要因の理解に努めています。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンラインによる研修等、会議や勉強会等で学ぶ機会を持ち、必要であれば活用出来るように努める。			権利擁護について学習する機会を計画し取り組んでいます。 身寄りのない(家族と関係性の薄い)入居者に対する支援について運営に反映できています。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際は契約の内容を十分に説明し不安や疑問点がないように理解や納得を得ている。また、改定の際も再度十分な説明を行い理解・納得を図っている。			法定サービスによる制度・報酬改定、その他、施設契約等の変更が生じる場合は十分な理解が得られるよう、変更が生じる前に時間的余裕を持たせ、本人及び家族が納得できるよう個別説明を行っています。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者との会話の中で、意見や要望を聞きながら対応。家族の来園や面会時には都度、状態報告し意見や要望を確認している。又、玄関には苦情箱を設置している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について契約時に説明を行っています。家族からの意見や要望は、基本的に電話や面会時に行っていますが、年1回懇談会形式で忌憚のない意見や要望を抽出できるよう努めています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議に代表者や管理者が参加。その際、意見や提案を聞く機会となり反映されている。			代表者は事業所会議に定期的に参加しており、ホーム管理者及び従事者の意見や提案を聞く機会を設けています。管理者はプレイングマネージャーとしての役割を担っていますので現場の意見はダイレクトに運営に反映されやすい仕組みになっています。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に人事考課や面談等行う事で個々の努力や勤務状況を把握しやりがい、向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	採用している人事考課は、目標管理システムとなっています。よって、育成面談(年2回実施)の際に定めた職員自身の個人目標はスキルアップの為の向上心に繋がり、定昇及び賞与に跳ね返る仕組みになっています。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、外部研修を受けることが難しい状況であったがリモートを使う事で法人内等の研修を受ける機会を確保する事が出来た。又、職員一人一人のケアの力量に合わせ研修を行った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内研修はすべての職員が参加する機会があり、外部研修についてはキャリアパスに沿って参加できるように整えています。参加できなかった場合についても参加した職員による周知研修を行っています。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、交流する機会が殆どとれず、相互訪問等も難しい状況であったが資料にて勉強とした。			地域包括支援センターが主催する地域ケア会議に参加し、地域の同業者と交流を図っています。法人内4か所のグループホームについて、相互に実習受入が可能な体制にあり、また、その4か所の事業管理者が集う合同介護を開催することでサービスの質の確保に取り組んでいます。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしを共にする同士、お互い協力、尊重し合いながら信頼関係を築いた。			暮らしの継続」を重視しており、入居前の暮らしを入居後もできる限り継続できるよう支援し、共同生活での役割を担っていただいています。生活面・医療面共に家族を交えて定期的に相談・面談を行い、職員のみで判断することは一切なく、家族へ相談・報告を必ず行っています。受診や行事等も家族に参加していただく等協力体制の下で本人の生活を支えています。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、自粛することが多く馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援する事が難しく、支援できても少しの時間窓越しで面会等であった。	コロナ禍なので、馴染みの場所や行きたい場所をドライブするだけでもいいのでは。通院の帰りにうちの周りを通るだけでも良いと思う。個々の対応は難しいと思うが、出来ていると思う。面会も、窓越しでも対応してもらえているので十分である。		入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向等の情報把握に努め、その趣向等を継続できるよう支援しています。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の暮らしを本人や家族に確認、把握し意向も合わせて確認しサービス提供とした。サービス提供後もこまめに本人の意向は確認し常に把握できるよう努めた。			入居前面談で、本人、家族、在宅時の介護支援専門員等から、生活歴や既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望等について聞き取り、思いや意向を把握しています。入居後は事前面談で得られた情報を基に関わりながら、言動や
----	----------	--	--	--	--	--	--

							表情から今の思いの把握に努めています。会話の中で得られた情報、職員の気づきは申し送りや個人記録等を活用し情報共有しています。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的にモニタリング、再アセスメントを行いカンファレンスにて本人や家族の意向をもとに各関係者と話し合い現状に即した介護計画を作成している。	6か月に一回見直しをし、より良い生活を送れるようケアのあり方を話し合い計画作成している。入居者の方の思いを汲みながら本人を中心とした支援の継続に取り組んでいると思う。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後は環境変化により心身状況が変化しやすい為、経過をみながら再びADL・IADLの情報を収集し、現在の心身状態を把握した上で、カンファレンス・モニタリング会議を開催し、ニーズや本人の心身状態について再アセスメントを行っています。介護計画の見直し時には、家族と介護計画の内容について話し合い、本人及び家族の意見・要望を取り入れながら本人主体の介護計画となるよう心掛けています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録に日々の様子やケア等を全職員が把握できるよう記入し、定期的にユニット会議を行い情報共有とし介護計画の見直しに努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の様子や実践、結果や気づき等は個別の記録に記入しています。記録を基にケアカンファレンスにて、介護計画の検討・見直しに活用しています。特に、認知症による周辺症状が著しい方については、より具体的に記録され、適切なケアに繋げる部分で活用しています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、本人や家族のニーズに対応するのが難しい状況もあるがなるべく対応出来るよう話し合い問題を解決し支援やサービスの多機能化に努めている。	コロナ禍にて、施設での様子を見て頂くことが出来ない事から、1人1人の施設での様子を写真に収めアルバム作成を行っている。行事での様子や楽しんでいる様子を見ると安心する。		医師による訪問診療、訪問歯科、薬剤師による薬剤指導、医療連携加算による訪問看護等、その時々ニーズに対応し必要な人に必要なサービスが提供できるように取り組んでいます。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議等で得た知識を活用、地域包括支援センター等に相談し権利擁護事業にも努めている。また、本人や家族にも情報提供としている。	本人の情報をその都度丁寧に教えてもらっている。全体のものとしては、広報などで情報得る事が出来た。楽しさ、嬉しさ等伝わってくる。助かっている。		本人の意向で地域の公園等への散歩、買い物、地域町内会への行事参加等を通し、地域との一体感ある支援に努めています。現在は、感染症拡大防止の観点から制限しています。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に受診状況を確認、入居後も主治医へ受診できるよう支援している。又家族協力にて薬受診する際には状態報告を行い、情報を共有し満足できる治療に努めている。			入居時に事業所の協力医療機関との提携について説明し、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただくようにしています。利用者の健康管理については、同法人内の看護師との連携を密に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えています。日頃からの健康状態や受診結果の情報は家族と密にし、適切な処置・支援が行えるよう努めています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際は、医師や家族、地域連携室や担当ケアマネとの連携を図り、情報の共有を行っている。退院時も適切な対応が出来る様に連絡を取りながら支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族・医師とカンファレンスを行い、事業所で出来る対応を話し合い、早期退院が出来るように取り組んでいます。入居者が入院された場合には、状態の経過把握をすると共に、病院や家族から情報をいただき、退院後のホームでの対応を検討し、受け入れ体制を整えるようにしています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の嘱託医や連携看護師による協力体制を整え、24時間の対応が可能である。契約時に重度化した場合や看取りの方針を説明し家族に理解を得ている。都度家族に近況報告し、納得してもらえる体制作りをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に重要事項説明書に明記している重度化・看取りに関して説明し、事業所で対応できることについて明確化しています。状態変化が生じた際には家族と面談の機会を設け、終末期における希望を再度確認し、具体的な援助方法について検討する機会を設けています。看取りを希望される場合は地域医療と協力し終末期支援を行っています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の急変や事故等発生時、すぐ対応や判断ができるよう定期的に訓練やシュミレーションを行い、実践力を身につけている。又、緊急連絡体制の周知徹底に努めている。ピノッ郷会議でも勉強会として行い、併設の看護職員や法人の看護師との連携体制も整っている。			緊急時や事故対応マニュアルが備わっており、速やかに対応できる体制にあります。症状別の初期対応についても定期的に勉強会を行っています。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害対策として火災や災害のシュミレーションを実施するほか年2回総合消防訓練を行い、昼夜問わず全職員で避難方法を身につけている。又地域との協力体制も築いている。	二階なので、安心なところがある。ないとは思いますが、一階が浸水した場合どこに集まるか、避難するか。ハザードマップを活用する必要がある。停電した場合、カセットコンロがあればいいのでは。自家発電はないが、3日分の食事、水、防寒着、ランタン、ストーブ等常備している。水が止まった際は、貯水槽より使用する事が可能である。広報などで、備蓄報告する事で家族も安心するのでは。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年地域の消防団や近隣住人、家族と共に夜間を想定した避難訓練を行なっています。今年度は感染症拡大防止の為、事業所のみで災害訓練を行なっています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、その人にあった声掛けや不快にならない様な対応に配慮している。相手の立場に立ちプライバシーを損ねない言葉かけにて対応した。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの意思や人格を尊重し、自尊心を傷つけないよう、言動や対応に十分留意しながら自己選択の機会が持てるようにしています。また、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際にはプライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の生活の中で希望や意向にあった暮らしが出来るように支援や協力を行っている。又その人が今までやってきた事が継続してできるような環境作りに努めている。			日々の日課を設ける事無く、入居者の生活ペースを尊重しています。入浴は出来るだけ希望の時間、回数で対応を行っています。活動の場へ誘導する場合も強制せず、自己選択ができるよう努めています。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため現在は食事を利用者と別々に食べている。行事や誕生会は利用者の希望に沿ったものや季節感や雰囲気を楽しんでもらえる様提供している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームの食事の献立は本体施設の栄養士が作成し、ホーム職員が調理を行い提供しています。食事は生活において楽しみの一つであることから、個々の状態に応じて刻み食等、完食できるよう対応しています。安全・衛生面に配慮しつつ、食事の準備や下拵え、片付け等を個々の能力に応じて一緒に行うことで残存能力の維持に繋げています。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の栄養士がバランスを考え献立作成している。又水分量を記録し、水分不足気味の方へは細めに声掛け促し対応している。			栄養士による食事献立がなされ、カロリー計算がされています。摂取量の記録を基本にカロリーコントロール、嗜好の有無でバランスを考え、主治医の指示で代替品の提供により栄養を補い、低栄養、脱水のないよう支援しています。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔衛生管理加算を算定するにあたって、全職員が口腔ケアの必要性を理解し、毎食後の口腔ケアの介助や声掛けを行っている。義歯の汚れや破損があれば歯医者へ連絡、往診や治療、ケアのアドバイスを頂いている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科医、歯科衛生士の指導を受け口腔ケアを実施しています。また、一人ひとり個別に対応し、残存機能を活かしたケアを行っています。夜間は義歯を管理し、洗浄剤を使用して衛生管理を行っています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、行っている。トイレでの排泄や、自立に向けた支援、便秘の予防等に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、時間やタイミングを見計らった声かけによるトイレ誘導で、排泄の自立に向けた支援を行っています。失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら取り組んでいます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望や一人ひとりのタイミングに合わせて入浴行っている。			週2回の入浴を目安としていますが、入浴日や時間は 本人の希望を尊重しながら柔軟に対応しています。安全安心に入浴していただく為、入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認した上で入浴を促すようにしています。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夜間安眠できるように、日中活動に参加できるよう支援した。疲労感見られた際は、無理せず休息してもらう等対応した。			個々の入居者に合わせ、日中に臥床時間をとっていただいたり、昼夜逆転気味な方には、できるだけ活動時間をとっていただくよう支援しています。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの内服管理し、用法、用量理解し内服に変更あった際は、職員全員で状態観察、確認行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬表をファイリングし、職員がいつでも確認できるようにしています。効能や副作用の他に医師からの注意点、助言があれば記載し、状態観察の指標の一つにしています。また、大きな症状の変化等がないか観察を行い、気になることがあれば適宜、連携看護

							職員や主治医に相談しています。 日々の服薬支援については、ヒューマンエラー防止の為、職員複数名で一人の入居者に関与し、飲み忘れや誤飲がないように努めています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	喜びや張り合いのある日々を過ごせるように援助してきたが、新型コロナウイルス感染防止の為、他者との交流も減り、気分転換等の支援が出来ない部分もあった。	感染対策での対応となると、気分が減入ってしまわないように、利用者が得意とする事を提供し、出来ない所は一緒に行ったらどうか。		食事支度や盛り付け、食後の下膳、掃除等、個々の出来る事を提供し役割が持てるよう取り組んでいます。利用者の楽しみを理解し、継続できるよう、また、新しい事を提供することで次への意欲に繋がるよう支援しています。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、外出行事は出来なかったが、室内で出来る行事考え、実施する事ができた。	コロナ禍なので、希望に添えない時もあると思う。状況に応じての対応が良い。天気の良い時は、ベランダに出て外気浴したりと気分転換できるよう努めているのは良いと思う。		コロナ禍以前までは、利用者の希望やADLを考慮して積極的に外出支援を行っていました。現在は感染症拡大防止の為、人が密集するような場所への外出は自粛しています。近隣の散歩、広い敷地内にある畑の手入れや中庭の散歩の支援を行っています。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、外出行事は出来なかったが、室内で出来るもの考え、金銭感覚養えるよう、選んで楽しめるよう支援した。			本人の生活用品等の買い物について、できるだけ陳列棚から商品を手にとって選んでいただくよう支援しています。また、有する能力に応じて本人に会計をしていただくよう支援しています。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば都度、手紙のやり取りされている。自分で書ける方は書いてもらい、書けない方は職員が、代筆とした。電話等も、都度、行っている。			要望に応じて、事務所内にある電話を使用いただいています。希望があれば手紙や年賀状が出せる支援をしています。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室は、プライベートを守る為扉の開閉に気を付けている。共用の空間が不快にならないよう、環境整備し、リビングの壁には季節感を味わえるよう、装飾行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有空間は天窓が設けられ、明るく開放感のある空間になっています。家庭らしさを大切にする為、さっぱりとした居心地よく過ごせる空間になっています。また、利用者が安全・安心して生活出来るよう動線を考慮しながら家具等を配置しています。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常に家族や利用者の意向を確認し、より住みやすい環境と安心して生活が出来るよう支援している。			自らの意思を伝えることが可能な入居者が多く、また、施設内で創設されている自治会が機能しており、意見・要望が反映される環境にあります。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の生活歴、暮らしの習慣、楽しみ等情報を収集し、それをもとにサービス提供に努めている。			入居時及び事後アセスメントを定期的に行い、入居以前の暮らし方のできる限り近づけるようケアプランに反映されています。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の健康面・医療面・安全面・環境面について常時目を向け対応。事故発生時は、再発防止に向けた話し合いを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	健康面については、入居以前から担当している医師との関わりを尊重する為、本人の希望に沿った上で入居後も継続しています。心身状態により日常生活に支障が生じないように起こりうるリスクを排除する為の話し合いを定期的に行い、対応策を実施しています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に家族や本人からどのように暮らしていたか情報収集し、できるだけ自宅での暮らしを施設でも同じように暮らせるよう支援している。孤立防止や誤嚥防止の為食事は3食同じ時間帯に提供している。			共同生活の趣旨から、施設の定めた日課になってしまいがちですが、以前の暮らしができる限り入居後も継続できるように一人ひとりに合わせたケアを方針としています。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前に使用していた物を持参して頂き、位牌等を置いたり、家族写真を飾ったりと今までの生活に近づける事ができるように工夫し支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前の暮らしの環境で使用していた什器(家具や仏壇、お皿、お椀等)の持ち込みを推奨しており、認知症の進行緩和を図っています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、自分の意向、希望では外出できなかったが、催(祭)事を室内で再現。又、外出行事が中止となるも職員が季節を感じてもらえる食べ物を購入し提供気分転換に努めた。	感染防止する為、外出行事が中止となったが、代替えに行事、季節に合った弁当を注文したり、掲示物を工夫したりと対応されているので良いと思う。今後も、生活の質の確保する為にも、内容の工夫が必要だと思う。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	それぞれに役割があり、洗濯干しやたたみ、テーブル拭き等の手伝い、又活動では本人の意向確認しパズルや塗り絵、計算等提供。できないところは一緒に行い、楽しんで行えるよう支援した。			アセスメント時に「できること」を抽出し、本人の意向に沿って施設内での役割を各々の入居者に担っていただき、本人らしさを追求しています。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	午前は新聞読み、体操、機能訓練を全員で行っている。その後感染対策をしながらレクリエーションを行い、他者とのコミュニケーションを図れる機会を作り、気分転換出来るよう支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループ活動も取り入れることですべての入居者が活動に参加する場が提供されています。また、余暇活動では個別の趣味活動も支援しています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、外出を控えていたため地域の人々との関わりができなかった。	感染症もどうなっていくのか検討つかない。対面での面会は難しくなってくるのでは。デイサービスとグループホームとでは、リモートできるのではないか。防火扉にフィルムを掛けて顔を見るだけでも安心すると思う。「行事出来なかった。代わりに〇〇やりました。」で良いと思う。無理してやる方が、家族としては心配。		感染拡大防止の中で地域との交流の機会が減少しています。地域の方とどのような方法で関わっていくのか、代わる方法を検討する必要性があり、その取り組みの実現が課題です。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、地域との交流はなかった。その為、感染対策をしながら職員、他者との交流出来る場面を多くし、マンネリ化防止と信頼関係を築けるよう努めた。又、日々言葉や表情を汲み取り、安心しより良い生活が送れるよう努めた。	新型コロナウイルス感染防止の為地域の方との交流がなかったのは仕方がない。コロナを逆手にとって、保育園や小学校から行事が撮影された DVD を借りてくるのはどうか。施設の中での生活となり、職員との良好な関係性を築き、安心して生活を送ることが大事だと思う。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各々の入居者の表情や言動から生活の豊かさが感じられます。事業所理念実現の為の取り組み一つひとつが当該項目に跳ね返りますので継続した取り組みが求められます。